

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 従来放射線誘発海綿状血管腫といわれた放射線治療後の出血を主体としたコントロール不良病変の病態機序解明

研究の目的

悪性脳腫瘍における放射線治療後、画像上出血を主体とするコントロール不良病変は「放射線誘発海綿状血管腫 (Radiation-Induced Cavernous Hemangioma: RICH)」と報告されています。

しかし、自然発生の海綿状血管腫と同一の病態か否かは明らかでなく、腫瘍細胞の混在可能性についても十分な検討がなされていません。

本研究では、当院で手術もしくは剖検により得られた症例の病理所見と画像所見を比較検討し、放射線治療後の出血性病変の本態を明らかにすることを目的とします。

これにより臨床上の治療方針決定や本病変の予後推定に資する重要な知見を提供できると考えています。

研究実施期間： 実施許可日～2028年8月31日

対象となる方： 2011年1月～2025年8月に弘前大学医学部附属病院または黒石病院において放射線療法やガンマナイフ治療を受け、経過観察中に出血主体のコントロール不良病変を認め、当院にて再手術または剖検を施行した症例を対象とします。

利用させていただきたい試料・情報について：

試料と情報の入手方法：

- 1, 電子カルテに保存された臨床情報、放射線治療歴、画像 (CT、MRI 等)。なお黒石病院でのガンマナイフ治療記録、データ、報告書は当院のカルテ内に保管されています。
- 2, 病理標本 (出血の程度、血管構造、マクロファージ増生、腫瘍細胞混在の有無等)、免疫染色結果 (CD4, CD8, CD10, CD31, CD34, CD68, CD134, HIF-1 α , TNF- α , VEGF など)、これらのデータはすべて匿名化 (氏名, 住所, 電話番号, 患者番号等を削除し固有の整理番号を付与) して取り扱います。

研究成果の取り扱い：

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定されることはありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えできませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

また将来、学術的意義や患者に不利益となる情報が明らかになった場合には速やかに公表し

ます。

ご協力をお願い：

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果が公表済の場合には、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	医学教育学講座・浅野研一郎 連絡先 0172-39-5250/Mail asanoken@hirosaki-u.ac.jp
--------------	--